

コンテナ型地上タンクセルフ給油所の設置について

株式会社 多良間興産様 ENEOS多良間PS

(所在地：沖縄県宮古郡多良間村)

コモタ株式会社

2026年1月



改装前の多良間興産様の給油所



※販売燃料はレギュラーと軽油のみ



※ドラム缶からの補充の様子

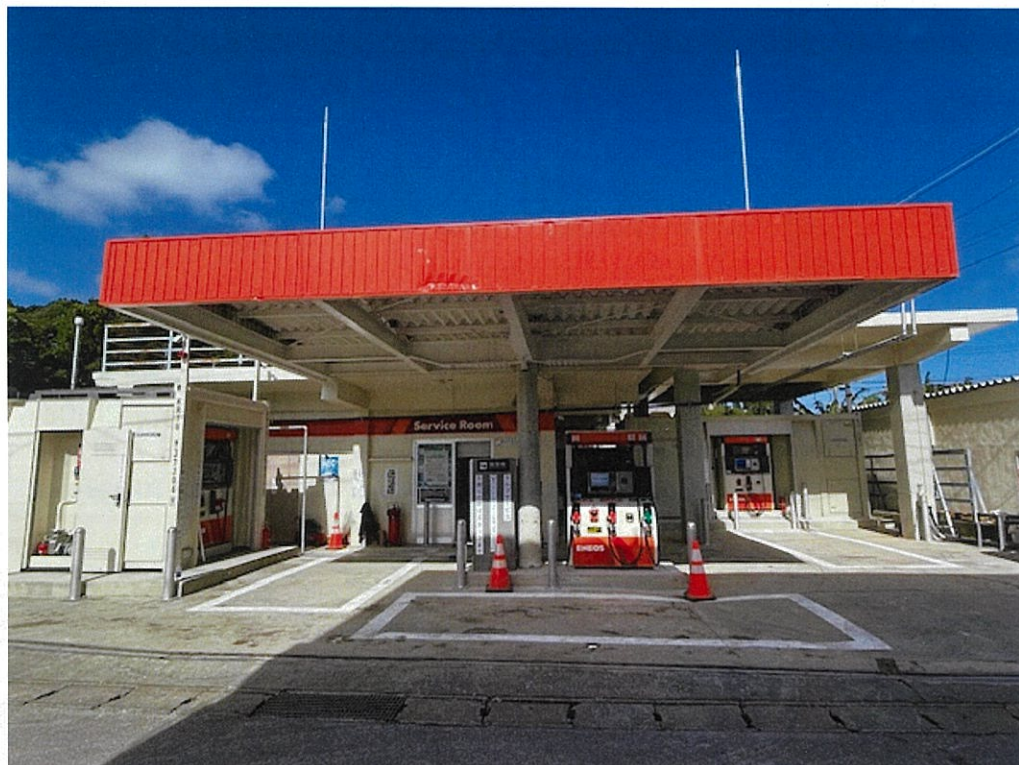
改装前（コンテナ型地上タンク設置前）の燃料備蓄事情

ガソリンはフェリーで宮古島からドラム缶を海上輸送してSSに隣接する屋内貯蔵所に備蓄を行い、毎日数回ポータブル計量機へ充填作業をおこなっていました。

準備済みのガソリン用ドラム缶は21本ありますが、一度に運べる本数に制限があるため、通常のSSでの備蓄量は3割～7割くらいしかありませんでした。

台風等でフェリーの欠航が続くと、在庫量を考慮して販売制限をかけることがあります。実際に工事中の2025年11月では、在庫量200ℓまで減り、フェリーが波浪の中、緊急で乗客無しで生活物資と一緒に運搬して在庫を確保しています。軽油、灯油、重油は宮古島からローリーで運搬をおこない、軽油の販売量は1日数回のためSSでは都度自社ローリーで運搬していました。

改装後の多良間興産様の給油所



※改装後の給油所 左に10ftコンテナ型地上タンク、右側奥に20ftコンテナ型地上タンクが設置されています。



※地上タンクへローリーからの荷卸しをする様子



※敷地中央の計量機と精算機

改装後（コンテナ型地上タンク設置後）の燃料備蓄

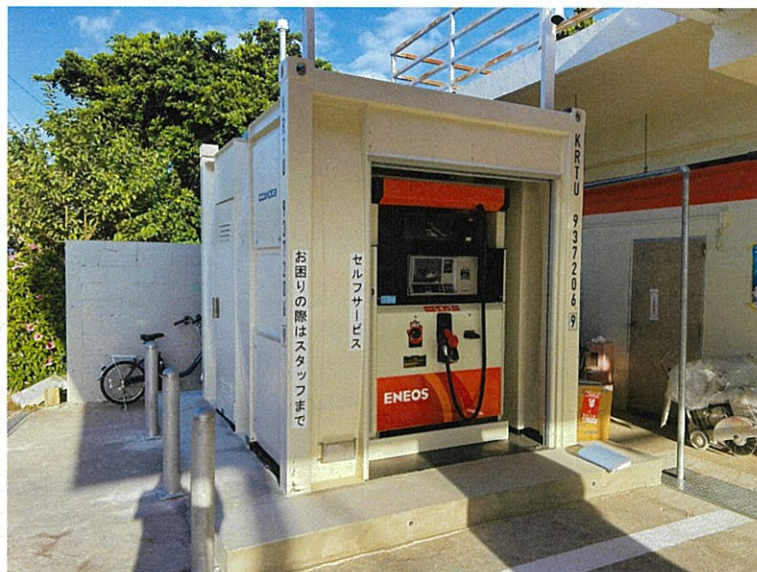
2台のコンテナを設置し、20ftコンテナはレギュラー12.5kl、軽油5.3kl。10ftコンテナにレギュラー8.1klの燃料を在庫できるように変更しました。運営方法もセルフサービスでの提供を開始し、左上の写真の左側にある10ftコンテナでレギュラー給油、中間にある計量機でレギュラーと軽油、右奥にある20ftコンテナでレギュラーの給油ができるように変更し、最大3台まで給油できる体制を構築しています。

在庫量が増加したことや、燃料の運搬をローリーに変更したことで従来のドラム缶からのポータブル計量機への補充対応も必要なくなり、従業員の皆様の手間の減少、2026年から開始される島内工事による需要増大に対しても対応できる準備ができました。

改装後の給油環境の変化（給油可能ノズル詳細）



- ※敷地中央のマルチ計量機
ノズルは以下の3本
- ・20ftに接続したレギュラーノズル
 - ・10ftに接続したレギュラーノズル
 - ・20ftからの軽油ノズル



※10ftコンテナ内の計量機
レギュラーノズル1本のみ



※20ftコンテナ内の計量機
レギュラーノズル1本のみ